



2020年9月3日

報道関係各位
ニュースリリース

会社名 明豊ファシリティワークス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大貫 美
(コード番号：1717 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 経営企画本部長 大島 和男
電話 03-5211-0066

東京大学（神岡）素粒子観測施設整備事業に関する設計・技術協力段階コンストラクション・マネジメント業務に係る公募型プロポーザルにおいて特定されました

国立大学法人東京大学の「東京大学（神岡）素粒子観測施設整備事業に関する設計・技術協力段階コンストラクション・マネジメント業務」に係る公募型プロポーザルに当社が応募し、審査の結果、当社の企画（業務）提案書が特定されました。

当業務は、ECI方式で実施する東京大学（神岡）素粒子観測施設整備事業のうち、アクセス坑道設計および空洞基本設計に係る、設計・技術協力段階のコンストラクション・マネジメント業務を委託するものです。

当事業の概要については、以下の東京大学宇宙線研究所のWebページの記事をご参照ください。

【ハイパーカミオカンデ計画の開始について（2020/2/12）】

ハイパーカミオカンデ計画は、日本をホスト国とする国際協力科学事業であり、スーパーカミオカンデの8.4倍の有効体積を持つ水槽と超高感度光センサーからなる超大型地下実験装置とJ-PARCの高度化により、宇宙の物質の起源と素粒子の統一理論の解明を目指すものです。

この度、ハイパーカミオカンデ計画の初年度予算35億円を含む2019年度補正予算が成立し、ハイパーカミオカンデ計画を正式に開始する運びとなりました。

日本の分担は、ハイパーカミオカンデ検出器の地下空洞掘削、水槽と構造体、内水槽光センサーの半数、水循環システムの主要部分、初段データ解析システム、J-PARC加速器およびビームラインのアップグレード、前置検出器のための施設整備になります。一方海外参加国の分担は、光センサーの防爆カバーと集光システム、内水槽光センサーの残り半分、外水槽光センサー、データ読み出し回路、検出器校正システム、前置検出器等となります。

今後建設を着実に進め、2027年の実験開始を目指します。海外パートナーと協力し、ニュートリノ物理学とニュートリノ天文学の発展に資したいと存じます。

2020年2月12日

東京大学

高エネルギー加速器研究機構

J-PARCセンター

参照URL <http://www-sk.icrr.u-tokyo.ac.jp/whatsnew/2020/02/hk.html>

■明豊ファシリティワークス 株式会社 概要

(1)商 号： 明豊ファシリティワークス 株式会社

(2)代 表 者： 代表取締役 社長 大貫 美

(3)本店所在地： 東京都千代田区平河町二丁目7番9号 JA 共済ビル6F

(4)主な事業内容：

公共施設、教育施設、医療施設、オフィスビル、生産施設、商業施設等の新築・改修プロジェクトや働き方改革・オフィス移転・統廃合、電源・空調等基幹設備更新等プロジェクトにおける「発注支援業務＝コンストラクション・マネジメント」及び「プロジェクト・マネジメント」サービスの提供。基本構想・基本計画策定支援、調達支援、設計マネジメント、施工マネジメント、コスト査定、移転支援など、あらゆるステージの様々なニーズに応える総合的ソリューションの提供。

(5)資 本 金： 5 億 4,340 万円

(6)上 場 市 場： 東京証券取引所 市場第一部（証券コード:1717）

(7)U R L： <https://www.meiho.co.jp/>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

明豊ファシリティワークス株式会社 IR 担当 TEL:03-5211-0066 大島 和男